

日本版感覚統合検査 完成まで、あと一歩です！

日本版感覚統合検査は4歳～10歳までの発達障害児の感覚統合機能を評価する検査として2001年より開発に取り組んできました。

これまでに、定型発達児のデータ収集が、目標の80%ほど終了し、現在、発達障害児データの収集、信頼性・妥当性を検討するためのデータ収集を開始し始めました。検査道具も最終版を今年のSI大会のときに、会員のみなさまに、お披露目できる予定です。

完成は2010年のSI大会 この時には、日本版感覚統合検査を大々的に発表する予定にしています。

しかし……、

この実現のためには、会員のみなさんの、ご協力がもう少し必要です。
具体的には

- ①現在、集まっている定型発達児のデータで4歳、5歳児のデータが**4歳約20名、5歳約10名不足しています**。4歳、5歳児のデータを収集していただける方、もしくはデータ収集に協力していただける、ご家族とお子さんを募集します。
- ②検査の信頼性を検討するための一つの方法として、**test-retest**法があります。これは同一の検査を同一の対象者（定型発達児）に対し、一定期間（2～3週間以内）をおいて2回実施し、検査の得点間の相関係数を求める方法です。この方法は、ご家族、お子さんへの時間的負担が大きいことから、検査開発の意義を十分にご理解できる方しか、協力をお願いすることはできません。**test-retest**法のデータ収集をしていただける方、もしくはデータ収集に協力していただける、ご家族とお子さんを募集します。

データ収集にご協力いただける方は、下記アドレスまでご連絡をお願いします。新検査のデータ収集講習会を受講され、今まで新検査のデータ収集を行った経験がある方は、検査道具を送付させていただきます。データ収集がご自分でできなくとも、近くに講師、インストラクターがいる場合、講師、インストラクターが現地に出向き、データ収集させていただきます（遠方の場合、お断りする場合がありますのでご了承下さい）。お気軽にご連絡を下さい。

連絡先：日本版感覚統合検査開発委員会 si-test2006@si-japan.net



写真：データは厳重に鍵つき棚で管理されています。